

# みんなで作る

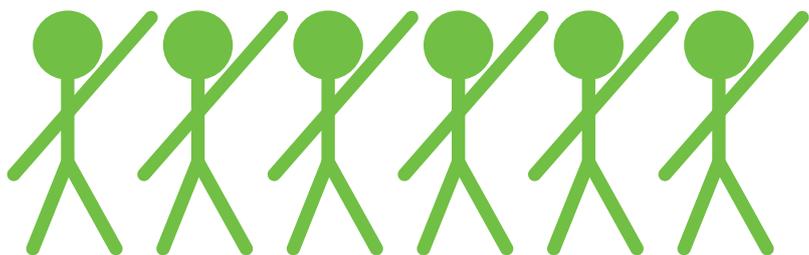
## 財団の設立資金を

# 集めています。

これまでのように、誰かお金のある人がつくったり、行政機関がお金を出してつくるのではなく、ひとりひとりが少しずつ、みんなでお金を出し合って財団法人を立ち上げようとしています。

その財団法人では、みんなが「もつとこうなったらいいな」「こうやって手助けしたいな」というアイデアにみんなでお金を出し合って叶えていく、かんたんに言えば、「割り勘で夢をかなえる」プロジェクトをたくさん進めていこうと考えています。あなたも「あたらしい仕組み」の発起人になりませんか？

目標 1,000 万円！



OKAYAMA Share

検索

OKAYAMA  
Share  
project  
おかやまをシェアしよう

# 割り勘で 夢をかなえよう！

「あの公園に赤ちゃんが寝させられるベンチがあったらいいのに」

「この階段、手すりがついていれば、おじちゃんも上りやすいのに」

「あそこに太陽光パネルをつけたら、きつとここの電力、まかなえるのに」

暮らしていて、そんなことを考えたり、気づいたりしたことありませんか？

そんなときに、これまでは行政機関に要望するか、気になりながらも忘れて行ってしまうことが、ほとんどだったと思います。

でも、そんなときに「ここにベンチ、割り勘して買おうよ!」と呼びかけることができれば、その夢をかなえることが出来るかもしれません。

しかも、多くの人で割り勘すれば、1人の負担は小さくて済みます。

そんな、ありそうでなかった「あたらしい仕組み」を、みんなでつくる財団で実現したいと考えています。この仕組みができれば、NPO や NGO が取り組むエコや海外支援や、障がいをもたれた方や、おじいちゃんおばあちゃん、子ども達の支援も、もっと気軽に、もっといろいろできるはず。

どんなことができるだろうと考えると、ちょっとワクワクしませんか？

OKAYAMA  
**Share**  
p r o j e c t  
おかやまをシェアしよう

賛成！賛成！



提案  
します！



# みんなの 貯金箱をもとう。

「こないだのゴルフコンペで集まったお金で、子ども達の遊び場を応援したい」

「飲み会のお釣りを貯めて、きれいな水づくりを応援しよう」

「会社の20周年を記念して、地域に恩返ししたい」

そんな想いが詰まったお金をもとに「基金」をつくることも、みんなで作る財団で応援しようと考えています。

基金ごとにテーマを決めて、「子どもの遊び応援基金」とか、「おいしいお酒を飲み隊基金」とか、「桃太郎商事・森づくり基金」とか。それぞれの応援したい取り組みを募集して、助成をすることができます。

割り勘にあわせて言うならば、こっちは「貯金箱」。みんなの夢をかなえるために、みんなで少しずつ貯金をして、夢をかなえる仕組みです。

例えば、有機野菜や商品を販売したお金で有機生活ファンドをつくり、有機野菜を育てる農家さんや新規就農する若者を応援して、また、そこでできた野菜を販売する。なんていう循環社会も実現できちゃうかもしれません。

有機生活ファンドに  
みんなで貯めよう！

OKAYAMA  
Share  
project  
おかやまをシェアしよう



# みんなとやれば、 できるはず。

世の中の「困ったなあ」ということの中には、そのことが得意な人や、別の方法をもっている人と分担すれば解決できることもたくさん、あるはずです。

そこで、みんなで解決のために役割分担をするための会議を、このみんなでつくる財団で開催したいと考えています。誰かが、他のみんなに話をするのではなくて、みんなで対等に話し合うから「円卓会議」。

例えば、町内会で菜の花を育て、それを NPO がお手伝いをし、育った菜の花を企業が回収し、精選して油にし、それを行政が買い取って学校等様々な施設で使用する。というような循環の仕組みも、円卓会議で集まって話し合えば実現できます。

地域の状況がどんどんと変わっていく中で、みんなで話し合うことは、きっと、どんどん増えていくはず。持続可能な地域のために、あたらしい仕組みの会議をみんなで実現させませんか。

